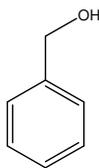


芳香族カルボン酸、アルコール Aromatic carboxylic acid, alcohol

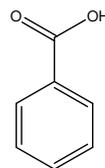
安息香酸、ベンジルアルコール及び酢酸ベンジルを CAPCELL PAK ADME-HR S5、CAPCELL PAK C₁₈ MGII S5 及び他社ハイブリッド型 C₁₈ カラム 5 μm (4.6 mm i.d. x 150 mm) を用いて分析した例を示します。

全多孔性シリカゲル C₁₈ カラム及びハイブリッド型 C₁₈ カラムと比較して、ADME カラムは親水性の高い安息香酸とベンジルアルコールの分離が良好でした。また全多孔性シリカゲル C₁₈ カラムと比較して、C₁₂ カラムである ADME カラムは疎水性の高い酢酸ベンジルの保持時間が同程度でした。

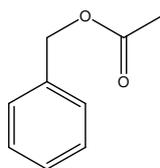
これらの結果から、ADME カラムは親水性化合物に対して高い保持を示し、それに伴って分離の改善が期待されます。一方、疎水性化合物に対しては、C₁₈ カラムと同程度の保持が得られると考えられます。



1. ベンジルアルコール (100 μg/mL)
Benzyl alcohol (M.W. 108.1)

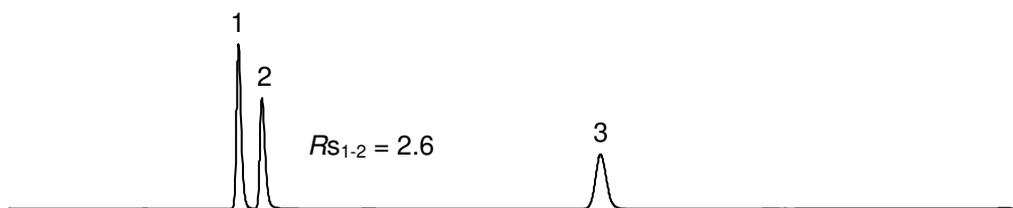


2. 安息香酸 (100 μg/mL)
Benzoic acid (M.W. 122.1)

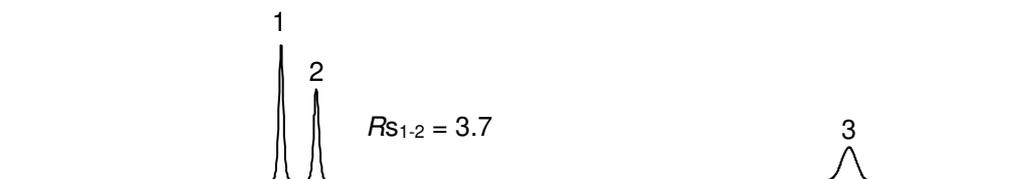


3. 酢酸ベンジル (100 μg/mL)
Benzyl acetate (M.W. 150.2)

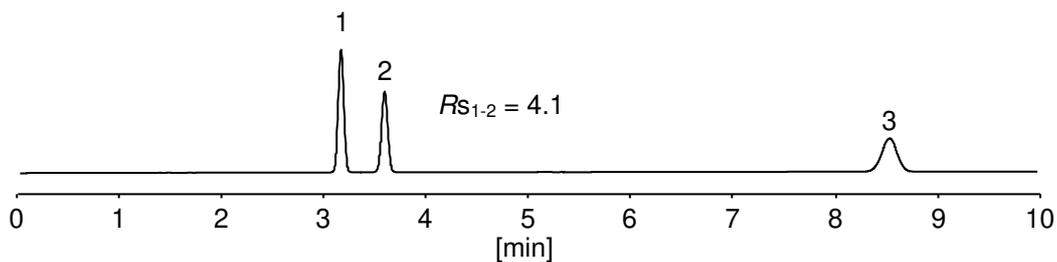
他社ハイブリッド型C₁₈カラム 5 μm



CAPCELL PAK C₁₈ MGII S5



CAPCELL PAK ADME-HR S5



【HPLC Conditions】

Column size : 4.6 mm i.d. x 150 mm
Mobile phase : 0.1 vol% H₃PO₄ / CH₃CN = 60 / 40
Flow rate : 1 mL/min
Temperature : 40 °C
Detection : UV 220 nm
Inj. vol. : 5 μL
Sample dissolved in : 40 vol% CH₃CN
※ 1 μg/mL = 1 ppm